

最優秀演題賞・優秀演題賞受賞者一覧

第34回日本消化器癌発生学会総会の最優秀演題および優秀演題が下記10演題に決定いたしました。

最優秀演題

ポスターセッション2「胃・十二指腸1」

- P2-2：久下 恒明 先生（東京大学大学院 医学系研究科 消化管外科学／日本医科大学 消化器外科）
「胃癌腹膜播種モデルマウスを用いた腹膜播種に対する At-211 標識抗 FGFR4 抗体による放射線免疫療法の検討」

優秀演題

ポスターセッション4「肝胆膵1」

- P4-1：上原 将大 先生（金沢大学 がん進展制御研究所 腫瘍制御）
「膵がんにおけるゲムシタピン耐性克服のための cyclin D2 関連経路の標的化」
- P4-4：杉町 圭史 先生（九州がんセンター 肝胆膵外科）
「C型肝炎治癒後肝癌の転写因子-標的遺伝子の網羅的解析」
- P4-6：福島 涼介 先生（群馬大学大学院医学系研究科 総合外科学講座 肝胆膵外科）
「切除可能胆管癌における FDG-PET の予後予測マーカーとしての有用性」

ポスターセッション5「小腸・大腸1」

- P5-2：徳永 卓哉 先生（徳島大学 消化器・移植外科）
「青色 LED は metabolic coupling を抑制することで抗腫瘍効果をもたらす」
- P5-3：下野 洋平 先生（藤田医科大学）
「脂肪細胞によるがん幹細胞性制御機構」

ポスターセッション7「口腔・食道2」

- P7-3：光浦 智証 先生（熊本大学大学院 消化器外科学／熊本大学大学院 生命科学研究部 分子生理学講座）
「食道癌における Equilibrative Nucleosides Transporters (ENTs) の病態生理学的役割」

ポスターセッション8「胃・十二指腸3」

- P8-2：竹島 秀幸 先生（星薬科大学 先端生命科学研究所 エピゲノム創薬研究室）
「メチル化合成致死：胃がんにおける CHFR メチル化と KRAS 阻害」

ポスターセッション9「肝胆膵2」

- P9-2：利田 賢哉 先生（九州大学大学院 消化器・総合外科）
「肝内胆管癌における TFR 発現が予後に及ぼす影響および薬剤感受性との関係についての検討」

ポスターセッション11「小腸・大腸3」

- P11-2：片岡 将宏 先生（信州大学医学部外科学教室 消化器・移植・小児外科学分野）
「大腸癌に対する新規 KRAS G12D 阻害剤 MRTX1133 の作用は Cetuximab により増強される」